



Safe Work KOCHI
ロゴマーク活用事例

(株)轟組 平成26-27年度長浜海岸堤防改良工事(その8)

Safe Work KOCHI 活用事例



熱中症指数モニター

現在の環境状況です。熱中症予防の参考にしてください。

← WBGT 指数
← 気 温 (TA)
← 相対湿度 (RH)

参考気温 (TA)	温度基準 ※1 (WBGT指数)	熱中症予防のための行動指針
35℃以上	危険 (31℃以上)	熱中症の危険度が非常に高い。
31~35℃	厳重警戒 (28~31℃)	熱中症の危険度が高いので、負担の大きい仕事は避ける。作業する場合には頻りに休息をとり、小まめに水分・塩分補給を行う。 ※2
28~31℃	警戒 (25~28℃)	熱中症の危険性が増すので、積極的に休息をとり、水分・塩分を適宜補給する。
24~28℃	注意 (~25℃)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意しながら仕事の合間に積極的に水分を補給する。

※1 WBGTとは熱中症を含む暑熱環境における人が受ける熱ストレスを評価する指数です。(Wet Bulb Globe Temperature)
(ここでのWBGTはその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものです。)

※2 作業場所のWBGT値がWBGT基準値を超える場合、少なくとも0.1%~0.2%の身体水、ナトリウム40~80mg/100mlのスポーツドリンク・経口補水液などを20~30分ごとにカップ1~2杯程度摂取することが望ましい。